

2006年9月12日(日本時間午後2時半リリース)

報道関係者各位
内閣記者会
文部科学記者会
かすみクラブ
京都府政記者クラブ
京都市政記者クラブ
京都経済記者クラブ
日本外国特派員協会

2006年9月12日
NPO 法人 STS フォーラム

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム 「STS フォーラム」第3回年次総会報告

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム「STSフォーラム」第3回年次総会が、「科学技術の光と影」をテーマに、2006年9月10日から12日まで京都で開催された。世界70の国・地域・国際機関から、約600名の科学者・研究者(ノーベル賞受賞者4名と学長26名を含む)、政治家(大臣25名を含む)、経済人及びオピニオン・リーダーが一堂に会した。

安倍晋三官房長官は、日本政府を代表して基調講演を行い、科学と経済と政治の間の対話と協力の重要性を強調するとともに、知と富と権力を適切に融合していくことが重要であると述べた。

尾身幸次 STS フォーラム実行委員長は、閉会式でフォーラム声明を発表し、科学技術の光と影に関し、人類の将来を見据えた活発な意見交換が行われたと締めくくった。主な内容は以下のとおり。

・経済活動と環境保護を両立させることによって持続可能な発展を実現することは人類にとって極めて重要であり、米国や中国、インドを含むすべての国々が参画するような新たな現実的かつ効果的な枠組みの必要性について合意した。

・エネルギー効率を向上させ、代替エネルギー資源の開発を一層進めることが必要である。核分裂エネルギーは、厳格な安全確保と核不拡散体制の下、益々重要な役割を担うべきと認識された。さらに、核融合の実現に向けた投資が必要であると認識された。

・エイズ、鳥インフルエンザ、マラリアといった感染症に対するワクチンや治療方法の開発は人類の将来にとって重要であり、早急な行動が必要であることが認識された。

・世界の全ての研究者が協力し合えるような、世界共通の国際ルールや標準の策定が重要である

と認識された。

・情報通信技術、ICT の更なる進展が人類の将来の繁栄をもたらすものであるとの点で合意され、ネットワークの脆弱性の低減とプライバシーの保護が極めて重要であることが認識された。

・科学技術は途上国の効果的な社会的・経済的発展にとって不可欠であり、共同研究や人材育成といった形態での科学技術面での国際協力を一層推進することの重要性が認識された。

・科学技術の進展によって、あたかも人類が地球を意のままにコントロールできるものと考えがちだが、50年後、100年後の人類や地球の姿を真剣に考えることが重要であり、全ての立場の人々が、科学技術の問題を自分自身の問題として考えることが重要であると認識された。さらに、科学技術が人類をコントロールするのではなく、人類が科学技術をコントロールすべきであるとの点で合意した。

「STSフォーラム」第4回年次総会は、2007年10月7日から9日まで京都で開催される。

お問合せ先:

プレスセンター(京都国際会館内) 9月12日 14:00 まで

事務局長: 芹澤 ゆう

広報担当: 金子 恵美

Tel. (075) 705-2050 e-mail: press@stsforum.org

STS フォーラム事務局(東京)

Tel. (03) 3519-3351 Fax (03) 3519-3352

添付資料: フォーラム声明